



令和元年 10月12日 土 13:00-17:00

参加費無料
事前登録不要

会場

日本学術会議 講堂

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34
[アクセス] 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」下車、
5番出口(青山公園方面)より徒歩1分



主催：日本学術会議地域研究委員会・環境学委員会・地球惑星科学委員会合同地球環境変化の人的側面 (HD) 分科会 後援：地理学連携機構
問い合わせ先：日本学術会議地球環境変化の人的側面 (HD) 分科会委員長 氷見山幸夫 E-mail: himiyama.yukio@hokkyodai.ac.jp

当分科会は平成29年7月に公開シンポジウム「地球環境変化研究の転換期における人的側面研究(HD)の推進に向けて」を開催、更に平成30年12月には公開シンポジウム「地球システムと私たちの生活—新世時代の想像力」を開催するなど、我が国で遅れていた人的側面からの持続可能性向上研究を振興し、将来社会の在り方を追及してきた。今回の公開シンポジウムは、このような一連の活動の一環として実施するものであり、国連のSDGs(持続可能な開発目標)達成に向けて国際学術会議 (ISC) やフューチャー・アース計画が取り組みを本格化させている折、種々の学術研究領域においてSDGsに関してこれまでどのような取り組みがなされ、どのような成果があり、将来に向けてどのような課題と展望を有しているかなどを紹介し、領域間の相互理解の増進、地球環境変化の人的側面研究の推進と社会貢献につなげたい。そのために、話題提供者とフロアとが一緒にディスカッションするための時間を確保する。

- 13:00-13:05 開会挨拶 石川 義孝 (日本学術会議第一部会員、帝京大学経済学部教授)
- 13:05-13:15 趣旨説明 氷見山 幸夫 (日本学術会議連携会員、北海道教育大学名誉教授)
- 13:15-13:35 **13:15-13:35 農学からSDGsへの貢献**
櫻井 武司 (日本学術会議連携会員、東京大学大学院農学生命科学研究科教授)
- 13:35-13:55 **13:35-13:55 乾燥地研究からSDGsへの貢献**
篠田 雅人 (日本学術会議連携会員、名古屋大学大学院環境学研究科教授)
- 13:55-14:15 **13:55-14:15 リモートセンシング研究からSDGsへの貢献**
近藤 昭彦 (日本学術会議連携会員、千葉大学環境リモートセンシング研究センター教授)
- 14:15-14:35 **14:15-14:35 環境保健学からSDGsへの貢献**
中村 桂子 (日本学術会議連携会員、東京医科歯科大学大学院国際保健医療事業開発学教授)
- 14:45-15:05 **14:45-15:05 KLaSiCa (社会変革のための学習プロジェクト) からSDGsへの貢献**
阿部 健一 (日本学術会議特任連携会員、総合地球環境学研究所教授)
- 15:05-15:25 **15:05-15:25 ESD からSDGsへの貢献**
阿部 治 (立教大学 ESD 研究所長・同社会学部教授)
- 15:25-15:45 **15:25-15:45 地理学からSDGsへの貢献**
岡本 耕平 (日本学術会議連携会員、名古屋大学大学院環境学研究科教授)
- 15:45-16:05 **15:45-16:05 エネルギー研究からSDGsへの貢献**
吉田 謙太郎 (日本学術会議連携会員、九州大学エネルギー研究教育機構教授)
- 16:05-16:55 **16:05-16:55 ディスカッション 山口しのぶ (日本学術会議連携会員、東京工業大学学術国際情報センター教授)**
- 16:55-17:00 閉会挨拶 春山 成子 (日本学術会議第三部会員、三重大学名誉教授)

Program